



すぎなみ 教育報



No.195

平成21年12月4日

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0692

中学生、地域へ

まち

— 地域とつながり、貢献する中学生たち

区立中学校の魅力のひとつは、そこに地域とのつながりがあることです。現在中学生たちは様々な形で自分たちの地域（まち）と関わりをもち、貢献しています。



阿佐ヶ谷中学校では、地域の風物詩となった阿佐ヶ谷ジャズストリートに出演。ジャズのスタンダードナンバーなどを力強く演奏し、地域の人たちをスイングで活気づけました。（写真上）

天沼中学校の生徒会と有志が主体となり、子ども地域活動促進事業として開催した「チャリティーマーケット」（フリマ、バザー等）。その収益を日本ユニセフ協会の「ガザ人道支援」「水と衛生」に寄付しました。また、地域の協力を得て112.5kgものペットボトルキャップを回収。エコキャップ推進協会に寄付され、CO2削減、世界の子どものためのポリオワクチン購入に役立てられます。（写真中左）

中瀬中学校にある、地域とともに作った「自然観察路」。昨年からは生徒たちが近所の中瀬保育園の園児を招待し、様々な動植物の住むこの観察路を案内しています。「地域のお姉さん」と仲良くなって、たくさんの自然に触れ合うこともできる大評判のガイドツアーです。（写真中右）

井草中学校の中学生レスキュー隊は、日頃から積極的に消防・救急の訓練を重ねています。その成果は、井草中震災救援所の総合震災訓練での各訓練ではもちろん、地域の皆さんを前に芝居の形で披露され、その的確・迅速な行動に大きな拍手を浴びました。（写真下左：井草地域施設運営協議会提供）

富士見丘中学校では、子ども地域活動促進事業として近隣の小学生とともに浴風会病院での花壇作りを始めて10年になります。土おこし・種まき・草とり・水やりと、大事に育てたお花を、敬老の日にお年寄りの皆さんにプレゼントして、とても喜ばれています。（写真下中）

和田中学校や、**東田中学校**、**荻窪中学校**、**阿佐ヶ谷中学校**、**井草中学校**が参加した「落書き消去大作戦」では、地域の人たちと協力し、「落書きは許さない」との決意表明のもと、青梅街道沿いの歩道橋や標識、ガードレールなどの落書きを消して「きれいなわがまち」を目指しました。（写真下右）

杉並区立中学校未来づくり委員会

区民から信頼される区立中学校、より魅力のある区立中学校へ。そのための教育活動や、学校経営に生かす施策等の提言を目的として平成20年11月に設置されました。委員会では、杉並区の中学生に、「地域貢献（社会貢献）の意識」など、道徳性・社会性を一層はぐくむことの必要性が指摘され、それらを実現するための施策が検討されています。検討結果は、今後、報告書としてまとめられることとなっています。

「つながり」を持つことで、生徒たちは自分が地域の一員であるという認識を高め、豊かな社会性をはぐくむことができます。一方で大人たちは生徒たちを「地域の若い力」と認め、中学校への信頼、中学生への理解が深まっています。

地域が中学校・中学生を、中学校・中学生が地域を高めあう。中学生の社会貢献は「いいまち」と「いい学校」の架け橋になるに違いありません。ここに紹介しただけでなく、他の中学校でも地域貢献の活動は盛んに行われています。地域の皆さんも目を向け、耳を傾けてみてください。「中学校」「中学生」のイメージが変わってくるかも知れません。



南伊豆健康学園 園児募集

南伊豆健康学園は、伊豆半島の南端にあり、きれいな空気、温暖な気候、恵まれた自然の中で、健康の回復と体力の増進を図る全寮制の学園です。区内の小学校と同じ内容の授業を行いながら、自然環境を生かした指導や、児童一人一人に適した健康管理を行います。 **入園期間**：平成22年4月～平成23年3月 **費用**：月額約28,000円（食費・雑費） **対象**：杉並区立各小学校に在学する上記入園期間中3～6年生（現在2～5年生）の方で、肥満やぜん息・偏食・虚弱のあるお子さん **申込み**：平成22年2月2日（火）までに各学校に申し込んでください。 **問合せ**：学務課就学奨励係

「国内産」をいただきます！

「調味料の一部を除く全ての食材を国内で生産・加工されているものにする」これが杉並の給食の「国内産」へのこだわりです。全校で月2回以上「国内産食材の日給食」として実施されています。



お米・肉・野菜・味噌・魚・ゴマ・梅干・こんにゃく。みんな国内産なんです！（西田小学校）

地元野菜をいただきます！



私が作りました！



こんなに大きいのが採れたよ！（新泉小学校）

大きなさつまいもと、笑顔。区内の農家、内藤勇さんの畑でのいもほりです。少なくなっはしまいましたが、杉並区内でも農業が行われています。その畑で採れた農産物を供給してもらい、給食に取り入れようというのが「地元野菜デー」。毎年11月を

中心に多くの学校で行われています。生産者の顔が見えるから、安心。地元産だから、新鮮です。給食で取り入れるだけでなく、農家の見学なども行われています。

おいしく食べよう、杉並の給食。

「杉並の給食」を体験してみませんか？ 学校給食展示会

日時：平成21年12月11日（金） 10時～17時
会場：阿佐谷地域区民センター（阿佐谷南1-47-17）

杉並区の学校給食はどんな給食なの？安全なの？学校給食展示会はそんな「？」にお答えします。今回紹介した取組みや、献立の開発、食育教材などの展示や、実験教室・料理教室、試食など盛りだくさんで、子どもたちの「おいしい！」を実感できますよ。児童・生徒による献立コンテスト表彰式も行われますので皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

交流自治体農産物をいただきます！



お米を作ってくれた南相馬の岡田さんと、それを食べる子どもたちの交流が始まりました。（富士見丘小学校で）

杉並の給食では、杉並区と交流のある6自治体で採れた農産物を活用しています。富士見丘小学校ほか5校で行われた「お米の授業」では、南相馬から子どもたちに届けられる有機栽培米のお話を、南相馬の農家の方から直接聞くことができました。米ができるまでの過程や、田んぼ、そこに住む虫たちのことを思い浮かべながら給食のご飯を食べれば、おいしさもまたひとしおです。

問合せ：学務課

教育委員が行く、見る、聞く。

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、学校等にも足を運び、教育の今を見聞しています。そうした教育委員の活動を順次紹介していきます。

浜田山小学校の研究主題は「自ら学び、考え、表現できる子供の育成」。全25学級で行われた公開授業では、グループになり意見を言い、それについて話し合うなど、「学び合い」を重要視し、学力向上とともに児童がお互いを尊重し合えるような指導方法が披露されました。

宮坂委員はそのうち1年生、4年生、6年生の3クラスを訪問。授業終了後、児童に囲まれて会話をす

など、子供たちとの交流を深めていました。



平成21年11月13日、浜田山小学校（平成20・21年度杉並区教育委員会教育課題研究指定校）の研究発表会に宮坂公夫委員（委員長職務代理）が訪れ、公開授業や研究発表を参観しました。

（宮坂委員から）

学校教育の大きな特徴は個人指導ではなく、集団で学習することです。そのため、先生や友達から与えられた刺激を自分の中に取り入れ、さらに相手に返してゆく、つまり学び合いのサイクルはとても大切なことです。授業終了後、すぐに大勢の子供たちに囲まれ、様々な質問や感想を聞かれ、さすが今回の研究主題の早速の成果を見る思いがいたしました。

知的障害の方を対象に「済美日曜教室」を開催しています

社会教育センターでは、義務教育を終えた知的障害者の方を対象に「済美日曜教室」を年16回開催しています。内容は、済美養護学校でのクラブ学習・音楽・体育などの通常講座と、遠足・社会見学・宿泊等の校外活動を行い、参加者の仲間づくりや、人間形成の向上を目指して実施しています。

—ボランティアを募集しています—

済美日曜教室は多くのボランティアの協力により運営されています。日曜日に実施している通常講座で参加者のサポートをしていただける方、遠足等の校外活動で付き添い等をしていただける方を募集しています。詳細はお問い合わせください。

問合せ：社会教育センター済美日曜教室担当 ☎03-3317-6621

大学生のパワーで地域を元気に！

— 杉並区と区内高等教育機関との連携協働に関する包括協定5周年 —

公開講座や、専門的な知識を生かした地域産業への支援など、大学は地域の活性化への大きな力を秘めています。また、大学にとっても地域は知識や技術の実践の場として欠くことのできない存在です。

2004年10月、杉並区と区内5大学は「杉並区と区内高等教育機関との連携協働に関する包括協定」を締結し、相互協力による区民の学習の支援や、まちづくりの連携協働に取り組んできました。

この5年の間に、各大学の連携により多くの事業が実施されてきましたが、近年、学生の参加による地域貢献活動が行われ、知識や技術のやりとりだけではなく、心のやりとりへと、連携協働の新たな可能性が広がっています。



すぎご (五大学学生) プロジェクト

連携協働推進協議会(※2)が実施する事業に、各大学から学生が参加し「すぎごプロジェクト」を結成しました。学生はそれぞれの

大学の専門性を生かして、子ども向けの「クレイアニメ制作」のワークショップや、「アニメビジネス」をテーマにした講演会を実施し、参加者との交流に地域貢献の手ごたえを実感しました。

- ※1 区内5大学 ●女子美術大学・女子美術大学短期大学部 ●高千穂大学 ●東京立正短期大学 ●明治大学 ●立教女学院短期大学
- ※2 包括協定による連携協働の推進を図るため、区と5大学により「杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会」が設置され、毎年独自に連携講座やシンポジウムを実施し、相互の連携協働のあり方を提案してきました。

問合せ：社会教育スポーツ課

水害復旧ボランティア

平成17年9月に杉並区を襲った集中豪雨。区内の河川から溢れた水で多くの場所で大被害が発生しました。

区内の大学からは災害ボランティアとして学生たちが参加し、高齢者世帯などの濡れた畳の搬出、家具の片づけ、ごみ出しなど、頼もしい助っ人ぶりを発揮しました。



10月27日、区や大学の代表が集まり、5年間の連携協働を振り返るとともに、今後の一層の協力を確認しました。あわせて協議会では、これまでの連携協働を記録した「杉並区と区内高等教育機関との連携協働に関する包括協定締結5年のあゆみ」を発行しました。



学校支援本部探訪 杉並第四小学校 (杉四小—高円寺中学び支援本部)

地域の大人が案内します ここが自慢の高円寺！



学び支援本部

「杉四小の子どもたちに高円寺をもっと知ってほしい」という学校の思いを実現するために、学校支援本部の三宅晴久さん(似顔絵の方です)は、高円寺をよく知る地域の大人を講師として招くため奔走しました。突然の依頼に地域の方々は最初戸惑ったようですが、三宅さんや先生の熱心な説明により快諾してくれました。社寺・商店・バス停等、6班に分かれ、わがまちを講師の案内のもとにじっくりと観察した後、子どもたちは再発見した「地域の自慢」を紹介する「高円寺カルタ」を製作。地域の方々を前に学習発表を行いました。子どもたちが高円寺をよりよく知り、わがまちに誇りを持たれたことに、講師をはじめ地域の方々も、三宅さんも満足そうな笑顔を浮かべていました。

文字通り「学校を支援する」のが学校支援本部の役割であり、この地域の方々も地域を案内するという授業も「支援」によって実現できたものです。しかし、それだけではなく、この授業によって「地域」と「学校」をよりつなげる役割をも担ったといえます。こうして杉四小は地域と一体となっていくのです。

(講師を務めた皆さん(写真左から))

「神社・お寺」…野口英次さん 「高円寺のお店・庚申通り商店街」…中島保美さん、槻木克美さん 「バス停・駅」…石場聡さん 「点字・障害者への配慮やさしい町高円寺」…宿谷忠広さん、小山猛さん 「むかしの高円寺の地理」…大河原善雄さん 「むかしの杉四小」…高橋新一郎さん



社会教育セミナー「コノ世界ヲ解説セヨ」参加者募集中！

テレビ、インターネット、携帯電話…。街には情報があふれ、私たちの生活も日々影響を受けています。子どもたちばかりでなく、子どもたちを守るべき私たち大人も、情報社会の危険にさらされています。このセミナーでは、タブロイド誌「GENERATION TIMES」編集長・シブヤ大学理事も務める有限会社ASOBOT伊藤剛氏による講義やワークショップ、ゲスト講師の講義により、情報伝達の仕組み・情報を読み解くポイント等を学び、マスコミ情報を疑うというだけでなく、情報に対する向き合い方を身につけていきます。日時：1月23日、30日、2月13日、27日(全4回・土曜日午後1時～5時) 会場：セシオン杉並(梅里1-22-32) 受講料：無料 申し込み：メールかFAXで社会教育センターへ FAX 03-3317-6620 E-mail: shakyo-c@city.suginami.lg.jp ☎03-3317-6621

2000

2001



10回分の感動と喜びを。

杉並区中学校対抗駅伝大会2009

平成21年12月13日(日)

10回目を迎える今大会では、区内公立・私立の中学校に加え、招待チームとして青梅市の中学校が参加します。3連覇を成し遂げている天沼中学校(男子)、成長著しい去年の覇者松ノ木中学校(女子)、そして今年こそはとトレーニングを積んでいる各校のチームワークと走りにご期待ください。

開会式 午前 9時30分
男子の部スタート 午前10時00分 / 女子の部スタート 午前10時10分
閉会式 午前11時30分
スタート・ゴール 都立和田堀公園競技場(杉並区大宮2-26)

問合せ：社会教育スポーツ課



は自分の目でその成果がはっきりと確認できるものです。「よし、大丈夫」と自分の歯・口の健康に自信が持てること、それは心身の健康づくり全体にもつながっていくのです。

問合せ：学務課

きれいな虹と、ももちゃんが描かれた壁の下には7つの蛇口、鏡が並んでいます。杉並第七小学校とともに「歯みがき推進モデル校」となった、桃井第一小学校の手洗い場です。子どもたちが一緒に楽しく歯みがきができ、歯周病の予防になるように、そして健康になるようにと今年度整備され、活用されています。

桃一小ではクラスごとに「みんなで歯みがきをする日」を決めており、給食が終わると歯ブラシ・コップを持ち出して、しゅっしゅっ歯みがきを始めます。手洗い場で口をすすいたら、鏡の前で「いっ」と歯をじっくりと観察。今日もうまく磨けたかな？

歯・口の健康づくり



さあ歯みがき!

もっと

知りたくて

調べました



区長賞

「皆既日食～26年後のタイムカプセル」
永福小学校 中村志乃さん



教育長賞

「ざりがにのざりくん」
荻窪小学校 菊池つくしさん



教育長賞

「太陽光電池とエコの研究」
桃井第二小学校 原口遼さん

第10回「杉並区調べる学習賞」コンクール

日食、ざりがに、太陽光電池、ヤドカリ、寄生虫、ウミガメ、バリアフリーに遺伝子。興味の向かう先は本当に多種多様です。今年度は728名の皆さんが、好奇心の赴くまま本やインターネットを使ってそれぞれのテーマを「調べ」、その成果を応募してくれました。そのうち、1名が区長賞、2名が教育長賞、25名が奨励賞に選ばれ、11月11日(水)に表彰を受けました。おめでとうございます!

なお、入選作品は全国大会である、第13回図書館を使った“調べる”学習賞コンクールに出品されます。

問合せ：中央図書館 ☎3391-5754

教育委員会の動き(21年10月～11月)

【教育委員会開催状況】・定例会 3回 ・臨時会 4回 ・議案 14件 ・報告事項 13件

【主な案件】◎は審議、○は報告事項

- ◎ 杉並区立子供園条例
- 学校希望制度の申請状況
- 区立学校における新型インフルエンザの発生状況について
- 平成22年度の区立幼稚園児(新4歳児)定期募集結果
- 地域図書館の指定管理候補者の選定結果について
- 杉並区小中一貫教育推進委員会の設置について
- 杉並区中学生レスキュー隊運営委員会の設置について
- (仮称)すぎなみ教育シンポジウム『地域と協働する学校づくりー地域運営学校・学校支援本部/成果と展望』の開催概要について

●再生紙を使用しています